

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成27年度 第7回
開催日時	平成27年6月25日(木曜日) 午後6時から7時30分まで
開催場所	田無庁舎 5階 502 会議室
出席者	出席：石崎委員長、小澤副委員長、岩本委員、深田委員、篠宮委員、洞澤委員、渡辺委員、入沢委員、尾関委員、小松委員、佐々木委員 欠席：井上委員、島委員、鍵主委員、鈴木委員 事務局：古厩課長、渡邊主査、本間主事
議題	議題1 第6回男女平等参画推進委員会会議録(案)の承認について 議題2 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画各課実績評価(平成26年度)評価について 議題3 その他 報告1 男女平等推進センター事業について
会議資料の名称	(配布資料) 1 第6回男女平等参画推進委員会会議録(案) 2 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画各課実績(平成26年度) 3 平成27年度男女平等推進センター事業について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

○委員長：

これより第7回男女平等参画推進委員会を開催いたします。

・事務局より配布資料を確認した。

・事務局より委員の半数以上が出席しているので委員会が成立している旨、傍聴人がいる旨の報告をした。

議題1 第6回男女平等参画推進委員会会議録(案)の承認について

○委員長：

事前に確認していただいていると思いますが、訂正等のご意見はありますか。

(異議なく承認された。)

議題2 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画各課実績評価(平成26年度)評価について

○委員長：

本日はグループワークを行います。各委員が評価したところを、再度グループ内で話し合っ
てより確実なものにして頂きたいと思いますのでよろしくお願いします。

グループワークの時間はどれくらいありますでしょうか。

○事務局：

1時間を予定しています。

○委員長：

終了時間の10分程前に進捗確認等を含めて事務局より制限時間の案内をしてください。

委員：

グループワーク終了後に事務局との調整時間はありますか。

○事務局：

質問はグループワーク終了後でもお聞きいたしますが、グループワーク中でも質問事項等あり
ましたらその都度対応します。

○委員長：

訂正等のまとめは事務局側が行いますか。

○事務局：

修正に関しては指示を頂ければ事務局側で修正をさせていただきます。

「グループワークを実施」

グループワークでの進捗により次回委員会にて重点課題の発表を行い、8月の委員会は開催しないこととなった。

重点課題については、第2次計画の領域別評価と同様にワードファイルのA4版で半ページから1ページ程度にまとめ7月20日の月曜日までに提出していただき、各課実績評価についての修正は7月17日の金曜日までに提出して頂くことになった。

議題3 その他

○事務局：

今回は協働コミュニティ課との意見交換会を予定していますがその場で質問に答えるため7月10日の金曜日までに質問事項を送ってください。

委員：

評価の判断基準としてヒアリングをするならわかりますが、評価の後にヒアリングをしても評価活動として意味がないように思います。

事務局：

ヒアリング後に評価を修正していただいても構いません。

委員：

協働コミュニティ課のヒアリングには課長が答えられるのですか。

事務局：

どうしても聞きたいことがあれば7月10日の金曜日までに質問を頂くとして、次回の委員会に協働コミュニティ課だけの評価を抜き出した資料をご用意させていただくので、その資料をみて、委員の皆さんがその時に思ったことをご質問いただき、事務局側は課長も担当も含めてご回答いたしますので、そのような形のヒアリングでいかがでしょうか。もちろんヒアリング後に評価の修正も可能です。

○委員：

担当する主管課の話を聞かずに勝手に評価することは難しく、説明やコミュニケーションが無いままに評価をすることはやりにくいです。ただ事前に質問事項を募集するのは時間の短縮に合理的だとは思いますが。

○委員長：

評価をする上での委員の思いがある一方、全ての課のヒアリングを行うことは難しいため、協働コミュニティ課だけでも評価につなげたいという委員の気持ちはよくわかります。各委員が担当している評価について、どうしても聞きたいことがある場合には、直接事務局にご質問いただき、評価をして頂き修正する形でいかがでしょうか。そうすれば7月の委員会では十分な時間をとって建設的な話し合いをできるのではないかと期待しています。

事務局：

評価前にヒアリングをすることも、評価後にヒアリングをすることもどちらの方法もあると思いますが、評価前にヒアリングをすると論点が分散してしまうことがあります。与えられた情報の範囲で評価をして、評価したものとヒアリングで聞いたものとのギャップが出たときに話をしながら認識を深めていく方法もあると思うので、次回は後者の評価後にヒアリングを行う方法で行いたいと思います。

報告1 男女平等推進センター事業について

事務局より配布資料3について説明した。

○委員長：

これで第7回の委員会を終了します。

○事務局：

次回は7月23日の午後6時から、会場は田無庁舎の502会議室です。

(閉会)